



令和3年 9月 30日  
豊玉南小学校だより

令和 3年度 10月号

# とよみなみ

## コロナ禍のコミュニケーション

校長 風見由起夫

体育学習発表会を前にして、学校全体に活気があふれてきました。これまでの準備の様子、保護者鑑賞日の見所については、裏面に掲載されている体育主任の記事に任せることにします。

先日、文化庁の「国語に関する世論調査」の結果が公表されました。その中にマスクの着用やウェブ会議といった生活の変化が、コミュニケーションにどう影響を与えているかについての結果が載っています。「マスクを着けると話し方や態度などが変わることがあると思う」と**62.4%**の人が答えています。変わることとして「声の大きさに気を付ける（74.1%）」、「はっきりとした発音で話す（57.5%）」が上位を占めました。

また、ウェブ会議で気を付けていることでは、「自分が話すタイミングに気を付ける（58.4%）」が一番多い回答でした。私もこれまでの会議の8割ほどがウェブ会議となり、話すタイミングについてはとてもよくわかります。一方で「ほかの人の表情や反応に気を付ける（27.3%）」、「表情で伝えにくい分を言葉でおぎなう（11.8%）」は、割合が低めです。解像度もあまり高くないモニターでは、相手の表情も声の調子も上手に受け取ることは大変難しい状況です。この一年でコミュニケーションの取り方が大きく変わり、今まで以上に難しくなってきました。直接会って議論を深めたいと思うのは私だけではないはずです。

学校の授業も感染防止のためマスクを付けたまま行っています。換気のためドアや窓を開けているので、子供たちは新しい気付きや考えを積極的に発表していますが、その声が聞き取りにくくなってしまふことがあります。互いに意見を出し合い、考えを深めていくことが小学校の学習活動においてとても大切なことなのですが、最適な環境で学習活動をすすめられないことがとても悔しいです。

「国語に関する世論調査」では、新型コロナ関連で使われるようになった言葉について、「この言葉をそのまま使うほうがいい」「ほかの言い方をしたほうがいい」かについても調査しています。「不要不急（67.2%）」「コロナ禍（66.8%）」は、6割が「この言葉をそのまま使うほうがいい」だったのに対して、「ウイズコロナ（29.7%）」は3割弱でした。言葉の意味が充分に分からない、その言葉からはよく想像できないために、このような結果になったのではないのでしょうか。

学校でも、この1、2年で新しい言葉がたくさん使われるようになりました。「分散登校、タブレット、パスワード、ミーティング（Meet）、オクリンク、オンライン学習・・・」丁寧に説明しているつもりですが、もう一度確認しておくことが必要なのかもしれません。特にオンライン授業については、イメージだけが先行してしまっているように感じています。

### 10月の行事予定

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1日(金) 都民の日           | 17日(日) 武石移動教室始(6年) |
| 体育学習発表会(児童鑑賞)        | 19日(火) 武石移動教室終(6年) |
| 2日(土) 体育学習発表会(保護者鑑賞) | 個人面談(希望制)①         |
| 給食あり                 | 21日(木) 個人面談(希望制)②  |
| 4日(月) 体育学習発表会(予備日)   | 22日(金) 個人面談(希望制)③  |
| 委員会活動(6校時)           | 読書旬間終              |
| 5日(火) 安全指導・点検        | 29日(金) 午前授業        |
| 7日(木) 避難訓練(二次避難)     | 30日(土) 60周年記念式典    |
| 中学校体験(6年)            | (6年生のみ登校)          |
| 11日(月) 読書旬間始         |                    |
| 13日(水) 午前授業          |                    |
| 15日(金) 移動教室事前健診(6年)  |                    |



## 落ち着きのある生活をしよう

体育学習発表会の練習も佳境を迎え、どの学年もゴール目指して全力疾走です。雨の日も多いので、校外では落ち着いて生活し、思わぬ怪我や事故に気を付けていきます。ご家庭でも早寝早起きや適度な運動、朝ご飯をしっかりをとることを心掛けてほしいと思います。

### 〈 4年の窓 〉 4年担任 長谷川 祐子

5月の連休明けに、5年生から引き継いでウサギの世話が始まりました。総合的な学習の時間にウサギについて調べたことを生かしながら飼育をしています。生き物の命を預かり、責任をもって世話する姿が見られます。

4年生は、毎日「きらりノート」（日記）を書いています。最初は書くことに抵抗があった子供達も、短い時間で、まとまった文章が書けるようになってきました。社会の「わたしたちのくらしと水」で学習したことを新聞にまとめました。国語の「新聞を作ろう」の単元で学習したことを生かし、文を要約して記事を書くことに挑戦しました。年間を通して「書く力」を伸ばしていけるように、取り組んでいきたいと考えています。

2学期は、体育学習発表会に向けて表現ダンスの練習を頑張っています。表現ダンスは、三代目 J SOUL BROTHERS の曲に合わせて楽しくかっこよく体を大きく動かして踊ります。プロの方のリモートダンスレッスンを受けて、磨きがかかったダンスにご期待ください。

総合の「もっと誰もが関わり合えるように」では、アイマスク体験や高齢者体験などを通して、バリアフリーやユニバーサルデザインなどについても学んでいきたいと思っています。

今まで積み重ねてきたものや価値を自分達で実感できるようになってほしいと思います。

### 〈 5年養殖体験 〉 5年担任 森 孝志

7月から総合的な学習の時間にて、「養殖体験プログラム～いのちの授業～」に取り組んでいます。NPO 日本養殖振興会の齊藤浩一先生をゲストティーチャーに招いて、「ヒラメ」の養殖について、実際にヒラメを飼育しながら、ヒラメの生態や食性、養殖業などについて学んでいます。社会科の水産業にもつながる学習です。

夏休み中に、ヒラメの生態や食性、形態についてタブレットを使って調べ、ワークシートにまとめました。

去年の5年生が飼育していた水槽に加え、もう一つの水槽が届きました。10月には水槽を組み立て、その後ヒラメの稚魚をもらって実際に育てます。そして観察や水槽の掃除などのお世話をしていきます。子供たちは、去年の様子を覚えていたので、今か今かと楽しみにしています。

題名にもありますが、これは「いのちの授業」です。命を扱うことの大切さだけでなく、人が他の生物の命でもって自分たちの命をつなげていくということ、この授業で学んでほしいと思います。

◇給食費・教材費 引き落とし日

①10月 5日(火) ②10月15日(金)  
入金をよろしくお願い申し上げます。

### 〈開校60周年記念体育学習発表会〉 体育主任 乙藤 康次郎

緊急事態宣言下で午前授業が続き、昨年よりも発表会の練習に当てられる時間が少なくなりました。夏季休業明け、忙しい毎日の中でも子供たちは本番を楽しみに集中して練習に励んできました。

6月に実施した開校60周年記念児童集会では、カラフルな風船が青空を彩りながら、子供も大人も開校60周年のお祝いをしました。11月には60周年記念式典も予定されています。今回、体育学習発表会を行うにあたり、『開校60周年記念体育学習発表会』という名前に決定しました。各学年の表現種目では、60周年をお祝いする言葉や動きを取り入れています。参観される保護者の方、地域の方も一緒に、一つの節目を迎えられた喜びを感じていただきたいと思います。

運動会のプログラムから大きく変わった今年の体育学習発表会。今年は昨年をベースにしなが、子供がさらに楽しみ、活躍できるよう、児童鑑賞日には「おひさま音頭」と、「団体競技」を追加しました。体を動かす心地よさ、仲間と協力する一体感など大いに感じてもらいたいと思います。

また、発表会に向けて5・6年生は委員会活動を通して準備を進めてきました。来校者用のシール準備に、当日大きく掲げられる発表会のスローガンや大プログラム、会を盛り上げる赤組・白組のイメージキャラクターのポスターや、児童鑑賞日で行われる種目のアナウンスや準備・整理運動、校歌演奏、校内に設置された意気込み掲示板や体調管理を促すポスター…。当日の発表を通して、これまで積み重ねてきた努力、そして成長を感じていただければと思います。子供たちに、ぜひ温かい声援をお願いいたします。